

滋賀県には、約340種の鳥が生息します。そして、自然環境の多様さと立地条件により、山地から雑木林、水田、湿地帯までのさまざまな環境に、さまざまな種が見られます。しかし、中には生息が脅かされている種もあり、滋賀県レッドデータブック2020年版には138種が選定されています。

1. 県内の生息種数

滋賀県には約340種の鳥が生息しています。鳥の場合、本来の生息地や渡りのルートからはずれてまれに現れる迷鳥が存在し、どこまでを生息種として記録すべきか判断が難しいところがありますが、日本野鳥の会滋賀の「におのうみ43号記念誌 滋賀県の鳥 2015」(2015年)では、滋賀県産鳥類として340種が記録されています。「日本鳥類目録 改訂第8版」(2024年)によれば、日本に生息する鳥類は644種ですので、国内に生息する種の半分以上が滋賀県内に生息することになります。

2. 鳥類の生息場所としての滋賀県の特徴

滋賀県に多くの鳥が生息する理由は、気候や地形、植生などの自然環境の多様さと関係があります。滋賀県は、東日本と西日本の境界に位置し、日本海側と太平洋側の接点にある地域です。そのため、ハチクマやサシバなどの猛禽類を含むさまざまな渡り鳥が、滋賀県を通過します。また、1000m級の山地に囲まれ、中央の琵琶湖に向かって、丘陵地帯、平野、内湖や湿地帯が広がるという地形的な特徴もあります。こうした多様な自然環境と立地条件から、滋賀には多くの鳥が生息するものと考えられます。

多くの水鳥が生息することも、滋賀県の特徴の一つです。琵琶湖の水鳥についてはP.186「7-17」水鳥で扱いますが、米原市の三島池は、マガモの自然繁殖南限地として1959(昭和34)年に県の天然記念物に指定されています。国の天然記念物であるヒシクイも、その亜種であるオオヒシクイの分布南限が湖北地方となっています。また、琵琶湖や内湖に広がるヨシ原には、全国的にも繁殖例が少ないサンカノゴイやチュウヒの繁殖記録があります。水田地帯には、ケリなどの繁殖鳥やサギ類、春秋にはシギ・チドリ類など、一年を通して多くの鳥類が見られます。

丘陵地帯の雑木林には、ホオジロ・ウグイス・カラ類などが生息します。山地にも多くの鳥が生息しており、延暦寺の霊場として保護されてきた比叡山は、1930(昭和5)年に「比叡山鳥類繁殖地」として国の天然記念物に指定されています。一方、大型の猛禽類、イヌワシとクマタカが、同じ山系に生息するのも滋賀県の鳥類相の特筆すべき点です。

3. 希少種の現状

近年では、森林や水田などの環境変化、過剰なレジャーや写真撮影による繁殖や採



食活動の妨害、シカや外来種の増加による影響などにより、生息が脅かされている種もあります。特に、河畔林の減少や孤立・断片化、ヨシ原とその後背地の湿地や水田の減少と環境変化などにより、水辺に生息する鳥類の減少が目立っています。「滋賀県で大切にすべき野生生物—滋賀県レッドデータブック2020年版—」では、県内に生息する鳥類のうち、9種が絶滅危惧種、15種が絶滅危惧増大種、109種が希少種、3種が要注目種、2種がその他重要種に選定されています(表7-16-1)。

表7-16-1 滋賀県で大切にすべき野生生物の鳥類リスト(2020年版)

カテゴリー区分	種 名				
絶滅危惧種	サンカノゴイ	ヨシゴイ	イヌワシ	クマタカ	オオコノハズク
	コノハズク	コミミズク	ヤマセミ	ブッポウソウ	
絶滅危惧増大種	ヒシクイ	マガン	ミソゴイ	クイナ	ヒクイナ
	ヨタカ	タマシギ	コアジサシ	ハチクマ	オジロワシ
	オオワシ	チュウヒ	トラフズク	コマドリ	コルリ
希少種	コハクチョウ	オオハクチョウ	オシドリ	ヨシガモ	アメリカヒドリ
	シマアジ	トモエガモ	ホオジロガモ	ミコアイサ	カワアイサ
	ウミアイサ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	アオバト	ゴイサギ
	ササゴイ	チュウサギ	バン	ジュウイチ	ホトトギス
	ツツドリ	カッコウ	タゲリ	ダイゼン	イカルチドリ
	コチドリ	シロチドリ	メダイチドリ	セイタカシギ	ヤマシギ
	アオシギ	オオジシギ	チュウジシギ	タシギ	オグロシギ
	オオソリハシシギ	チュウシャクシギ	ダイシャクシギ	ホウロクシギ	ツルシギ
	コアオアシシギ	アオアシシギ	クサシギ	タカブシギ	キアシシギ
	ソリハシシギ	イソシギ	キョウジョシギ	オバシギ	トウネン
	オジロトウネン	ヒバリシギ	ウズラシギ	エリマキシギ	ツバメチドリ
	ミサゴ	ハイロチュウヒ	ツミ	ハイタカ	オオタカ
	サシバ	ノスリ	フクロウ	アオバズク	アカショウビン
	カワセミ	アリスイ	オオアカゲラ	チョウゲンボウ	コチョウゲンボウ
	ハヤブサ	ヤイロチョウ	サンショウクイ	サンコウチョウ	キクイタダキ
	ツリスガラ	ヤブサメ	メボロムシクイ	センダイムシクイ	オオヨシキリ
	コヨシキリ	セッカ	キレンジャク	ヒレンジャク	ゴジュウカラ
	キバシリ	ミソサザイ	コムクドリ	カワガラス	マミジロ
	トラツグミ	クロツグミ	ルリビタキ	コサメビタキ	キビタキ
	オオルリ	イワヒバリ	カヤクグリ	ニューナイスズメ	タヒバリ
	ハギマシコ	ベニマシコ	オオマシコ	イスカ	ウソ
	ホオアカ	ノジコ	クロジ	オオジュリン	
要注目種	コウノトリ	アマサギ	コサギ		
その他重要種	ヤマドリ	コシアカツバメ			

滋賀県生きもの総合調査委員会編(2021)より作成

琵琶湖博物館 亀田 佳代子